

# 神樹の会会報

No. 26  
平成4年5月12日

発行所：神樹の会  
発行人：水野 整一

本部事務所（六甲作業所内）  
〒657 神戸市灘区備後町3丁目2番22号 ☎821-1533  
六甲作業所、東部デイサービス、東部生活訓練所  
〒657 神戸市灘区備後町3丁目2番22号 ☎821-1533  
明芳デイサービス  
〒654 神戸市須磨区大田町6丁目4-4 ☎735-8835  
垂水作業所  
〒655 神戸市垂水区星陵台4丁目4番45号 ☎782-9675  
福祉の店「いたやど」  
〒654 神戸市須磨区大黒町2丁目2-12 ☎733-2477

## 二十一世紀にむけて大きく歩みだそう

昭和四十七年発足

二十年の歴史を礎に

共に心を合わせて

神樹の会二十周年記念式典ならびに祝宴が、一月二十六日午後一時より神戸ポートピアホテル「和楽の間」で、二十余名のご来賓のご出席をいただき、会員・賛助会員あわせて約二百十数名の参加のもと盛大にとりおこなわれました。

式次第に従い始められた式典は、会長挨拶のあと、スライドで神樹の会二十年の歩みを振り返り又、基調講演を牧野名譽会長から頂き厳粛のうちに進められました。

第二部の祝宴では、池田副会長の司会のもと、原田垂水養護学校長の乾杯で幕があき、

### 次なる大きなうねりを

神樹の会会長

水野 整一

「楠千年さらに今年の若葉なり」  
思い出の高等部卒業旅行の際九州太宰府であった句です。いま神樹の会は二十年を経て新しい節目にいます。ここに初心を忘れず力を合わせて一期一会一日一日を大切に子供たちの自立と人権の確立や生活の豊かさの追求という課題をこなして共に生きてゆきたいと思えます。去る一月二十六日には多数の来賓の方々のご臨席を得て盛大な二十周年記念式典を挙げる事ができました。会員の皆様もまた感慨ひとしおなるものがありました。私たちの幸福も、未来の幸せも感謝の心の裏付けなくして求められないと思っております。神戸は本年度市民総合福祉計画が新たにスタートしました。安心、ゆとりを基本にノーマライゼーションの実現を目指して福祉を考えておられます。

ありがたいことです。私たちも今の熱意を持続しながら人と人とのふれあいを大切に次なる大きなうねりを作りだしていかなければなりません。

式次第	
第一部 20周年記念式典	司会 黒田美生子
1. 開会の言葉	谷 良子
2. 会長挨拶	水野 整一
3. 20年の歩み	宮脇テル子
4. 感謝状贈呈	神戸地下街株式会社 神戸市PTA協議会 神樹の会名譽会長
5. 祝 辞	神戸市民生局長 鈴木富士彦 神戸市PTA協議会会長 金井 彰仁 兵庫県肢体不自由児協会会長 清水 準也
6. 来賓紹介	
7. 基調講演	牧野 一夫
8. 閉会の言葉	武嶋喜代一



▶鈴木前局長からご祝詞をいただきました



▲リズムもかるやかに... 垂水作業所スターヒルミニ楽団演奏

I Love KOBE  
この街を僕が生きて  
I Love KOBE  
この街を僕が育て  
I Love KOBE  
この街を僕が埋めて  
I Love KOBE  
僕が生きて

スターヒル楽団オリジナル曲  
「神戸サンパ」より



▲万歳三唱を高らかに...

平成四年度  
總會のご案内  
\*日時 平成四年六月十四日  
午後一時半より  
\*場所 心障センター体育館  
\*議題 諸報告 役員選出  
予算案 他

## お世話になりました

### 友生養護学校

新しい未来を

在職中の皆様のご厚意に心より感謝します。神樹の会の皆様も新しい年度を迎え、新しい仲間と、新しい未来を切り開いて頂きますようお祈り申し上げます。

山同 雄一  
(元訪問教育部指導室長)



- |       |       |      |
|-------|-------|------|
| 山同雄一  | 退 職   | 山本弘子 |
| 古石寛子  | 退 職   | 本田和男 |
| 藤原 弓  | 退 職   | 山登和子 |
| 小野慶子  | 北野小教頭 | 三宅文子 |
| 清水明郎  | 垂水養   | 山下美穂 |
| 足立 健  | 大原中   | 村田守弘 |
| 酒井一美  | 東灘小   | 番山安広 |
| 中本美奈子 | 唐櫃小   | 岡崎郁美 |
| 竹内みゆき | 多聞台幼  | 垂水養  |

### 垂水養護学校

スタート

濱田 格

再び、人生の旅立ちをします。神樹の会のみなさん、お世話になりました。どうございました。

(元訪問教育部指導室長)

- |       |      |      |
|-------|------|------|
| 濱田 格  | 退 職  | 三仲幸子 |
| 西迫敦子  | 退 職  | 迎富久子 |
| 旗谷照男  | 青陽東養 | 宮内洋子 |
| 清水郁郎  | 青陽東養 | 佃 徳子 |
| 神澤撥子  | 山手小  | 竹内寛子 |
| 岸野清美  | 友が丘中 | 萩木節子 |
| 松本容子  | 水木小  | 白川小  |
| 井上京子  | 北須磨小 | 西野泰行 |
| 藤原伸子  | 丸山中  | 西野智恵 |
| 小山晶子  | 西野分校 | 三浦博子 |
| 村田彰一  | 青陽東養 | 岡久 明 |
| 上田恵津子 | 兵庫   | 阿部一彦 |
|       | 大開小  | 青陽西養 |
- (敬称略)



今春の人事異動で神戸市民生局長の鈴木富士彦氏がご退職になり後任に田中保夫氏がこられました。また、友生・垂水両養護学校も下記の教職員の方々が退職又は転職されました。



去る三月二日、友生九名、垂水十四名の高等部の生徒が卒業しました。今後のご活躍とご健康をお祈りします。社会へ巣立つにあたって保護者の方々に神樹の会へ望むことをお聞きしました。

祝 卒 業

# あなたからわたしへ



▲垂水養護学校卒業式



▲友生養護学校修学旅行（山口県にて）

- ・ デイサービスの内容が、よりバラエティに富んだものになればうれしい。
- ・ バスの送迎、トイレの設備の整った場所の確保など、デイサービスの充実を望みます。
- ・ 医療設備が完備され、指導者が整った療護施設の早期実現を望みます。
- ・ 緊急時に一時保護など即お世話になれるような所が近くにほしいと思います。親が病気でたおれた時のことがいちばん不安です。
- ・ パザーに関して、学校が負担することが多すぎて在校中は大変に思った。もう少し余裕をもって協力できる体制にならないでしょうか。
- ・ 子ども自身が何かをつくるよろこびを味わえるようなデイサービスを望んでいます。
- ・ 往診してくれる医者がほしいと切に思っています。（そういう制度を神樹の会にお願いしてもいいのでしょうか）

・ 子どものため一日でも多くデイサービスに通わせてやりたいと思います。昼食を何らかの方法で用意していただけないでしょうか。又、指導員もなるべく多くして安心できるデイサービスをと望みます。

・ 最重度障害者を中心とした医療ケア・緊急一時保護などの完備した医療施設建設に具体的に取組んで欲しいと思います。

・ 作業所の賃金ももう少し上げればいいのですが。仕事の量とのかねあい難しいのでしょうか。

・ 子どもの身体が大きくなり一人で車椅子に乗せられなくなりそうです。（自家用車ですが）デイサービスに通うのに家まで迎えに来てもらいたいです。バスの利用回数を確保して頂きたいです。



(友) 友生養護学校 (垂) 垂水養護学校

## このゆびと〜まれ〜

出云云

藤島猪代子

七色の谷をこえて流れてゆく風のりボン。春よ春よとかけて行ったよ。神戸の町をイメージして作られたといわれる。「花の街」の軽快なメロディが、先生方のキーボード伴奏とご指導で、歌詞そのままに窓から廊下から園生たちの歌声も弾んでかけていく。星陵園春の歌で一日が始まり今日来園できたことにまず感謝。

ローンク作り、訓練、ペープサート、カレンダー作り、調理実習等々、先生方

・土曜に訓練に行つて先生に会えるのが楽しみです。より発展していきますよう。

の朗らかなやりとりも愉快に作業が楽しくはかどつてゆく。園へくると何かが待っていてくれる。何かを得て帰る期待と充実感とでその日一日はとても幸せ。ゆかりは障害者だが大きな不幸を背負ってきたとは思わない。この道を歩いてきたからこそ今までにめぐり会えた多くのお友達、医師、教師の方々に本当に恵まれた出会いをさせて頂き、虚弱であった子が星陵園へ入園して以来、心身共に健康になった事に感謝している。日常生活の不自由の口惜しさを耐えざるを得ない子に、素敵な出会いを用意された神様はうまく帳尻を合わせて下さったかと納得し、今は借り住居の園が独自の園として親の介助の必要のない通所施設として実現されるように切に希望します。

(星陵園 藤島ゆかり母親)

一、「神樹の会訓練教室」発足予定  
平成四年度より訓練教室を開設する予定で準備を進めています。

二、火曜教室が  
東部デイサービスに統合予定  
昭和五十八年に発足した東部生活訓練部(火曜教室)がこの度東部デイサービス事業の一部として統合されることになりました。

三、感謝のご報告  
次の方々より寄付を頂きました。

- 牧野一夫 神戸市立須磨高校生徒会
  - 中谷和幸 大谷裕子 吉田文恵
  - 鹿島婦人会大阪支部 鈴木真理子
- 匿名 (敬称略)

この他総会並びに二十周年のお祝いとして三十一件の方々よりご寄付を頂きました。

## あとがき

若葉がさわやかに映える季節となりました。会員の皆様にはお元気でお過ごしのことと存じます。二十周年を期にお互いのきずながより強いものとなり前進して行きますように。ご執筆して下さい。ご意見・感想などお寄せ下さい。

(林沢田 山内 宮崎 武縄 西原 宮脇)